

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値
輸入青果物等の取扱	千C/T	6,400	5,792

未達成の要因と分析	<p>・令和2年度の目標設定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響を当初の輸入野菜目標値を10%減じた150千C/T程度の減少と推定し、目標値を6,400千C/Tとしていた。</p> <p>・その後、世界的な感染拡大によりシトラス類の主要な輸入相手国であるアメリカ（カリフォルニア）や南アフリカ等からの輸入が減少したこと、また、日本国内においては、昨年4月の第1波及び本年1月の第3波時の政府の緊急事態宣言に伴う外出や会食の自粛や飲食店への時短要請などで、外食産業向けなど業務用需要が大きく減少したことから、シトラス類を中心に取扱量が大幅に減少した。</p> <p>【参考：シトラス類の取扱量実績】 R1年度：2,923千C/T R2年度 2,297千C/T （前年度比-21.4%）</p> <p>・さらには、新型コロナウイルス感染拡大により、世界的なコンテナ不足と船舶運航の遅延といった物流の乱れで予定通り輸入できない状態が発生していることから、R2年度の目標値を下回る取扱数となった。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>・今後も当面の間、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことを想定し、家庭向け需要が堅調な商材（バナナ等）の取り込みやぶどう、キウイ等その他貨物の集荷に向け荷受業者と連携した集荷活動を行うことにより集荷量の回復を目指す。</p>
---------	--

〔2〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R2年度の目標値	R2年度の実績値

未達成の要因と分析	
-----------	--

今後の改善方策	
---------	--